はじめに

このたびは本製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は，テーラーの正しい取扱い方法・定期的な点検及び整備について説明してあります。
本機のすぐれた性能を充分に発揮して，安全に快適な運転をしていただくため，本書をよくお読みいただき，充分理解してから御使用くださるとともに，日常の保守点検・整備・給油などを充分に行なって末長くご活用ください。又，お読みになった後必ず大切に保存し，わからないことがあったとき取出してお読みください。
なお，本製品についてより能率よく農作業を行なっていただくために，不断の研究成果を新しい技術として，ただちに製品に取り入れておりますので，お手元のテーラーと，この説明書に多少の違いが生じる場合もありますが，あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

サービスと保証

このテーラーには，保証書が添付してあります。詳しくは保証書を御覧ください。
なお，御使用中の故障や御不審な点及びサービスに関する御用命は，お買いあげいただきました販売店・農協又は当社内燃機器支店に，それぞれ「御相談窓口」を設けておりますのでお気軽に御相談ください。
そのさい (1)テーラー名称と車台番号，
(2)エンジン名称とエンジン番号，
(3)部品御注文の際は，
タイトル名称・図番及びコードNo.(純正部品表参照)
を合せて御連絡ください。

J-1204　J-1218

◆**安全鑑定適合番号**

クボタT402………602051

◆**型式認定番号**

クボタT402………農1536号

主要諸元

型	式	T402
機体寸法	全長	1750mm
	全幅	710mm
	全高	1110mm
	輪距	275〜610mm
重量		121kg
エンジン	名称	クボタGS230－2T
	形式	空冷4サイクル1気筒 立形ガソリンエンジン
	総排気量	226 cc
	出力/回転速度	3.7馬力/1600回転毎分 (クランク軸3200) (最大5.5馬力)
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
	燃料タンク容量	3.8ℓ
	点火方式	無接点式マグネト点火
	始動方式	リコイルスタータ
タイヤ		4.00－10
主クラッチ方式		ベルトテンション
操向クラッチ方式		爪クラッチ
制動方式		内部拡張式
変速段数	前進	6段
	後進	2段
走行速度		前進1.2〜14.1km/時 後進0.98〜1.95km/時
PTO回転速度		低 780回転／分 高 1342回転／分

標準付属品

品名	数量／台	備考
10－12スパナ	1	
14－17スパナ	1	
プラグボックス	1	
ドライバ	1	＋，－差換え式
プライヤ	1	
じょうご	1	
油差し	1	
取扱説明書	1	
純正部品表	1	
保証書	1	
納入品安全説明書	1	
安全注意ポスタ	1	
安全憲章コンプ	1	安全五憲章入り

快足テーラー

J-1219

(Z)T402

取扱説明書

久保田鉄工株式会社

本社：大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 〒556-91 電(06) 648-2111
東京本社：東京都中央区日本橋室町3丁目3番2号 〒103 電(03) 245-3111
北海道支店：札幌市中央区北3条西3丁目1番地44（札幌富士ビル） 〒060 電(011) 214-3111
東北支店：仙台市本町2丁目15番11号 〒980 電(0222) 67-9000
中部支店：名古屋市中村区名駅3丁目22番8号（大東海ビル） 〒450 電(052) 564-5111
九州支店：福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号（住友生命博多ビル） 〒812 電(092) 473-2401
内燃機器仙台支店：名取市田高字原182番地の1 〒981-12 電(02238) 4-5151
内燃機器秋田支店：秋田市寺内字大小路207番地54号 〒011 電(0188) 45-1601
内燃機器東京支店：浦和市西堀1228番地 〒338 電(0488) 62-1121
内燃機器新潟支店：新潟市上所上1丁目14番15号 〒950 電(025) 285-1261
内燃機器名古屋支店：愛知県一宮市観音町1番地1 〒491 電(0586) 24-5111
内燃機器金沢支店：石川県松任市下柏野町956－1 〒924 電(0762) 75-1121
内燃機器岡山支店：岡山市宍甘275番地 〒703 電(0862) 79-4511
内燃機器米子支店：米子市米原569番地 〒683 電(0859) 33-5011
内燃機器福岡支店：福岡市東区和白丘2丁目2番76号 〒811-02 電(092) 606-3161
内燃機器熊本支店：熊本県下益城郡富合町大字廻江846番地の1 〒861-41 電(096) 357-6181
内燃機器高松支店：香川県綾歌郡国分寺町国分字向647の3 〒769-01 電(08787) 4-5091
堺製造所：堺市石津北町64番地 〒590 電(0722) 41-1121
宇都宮工場：宇都宮市平出工業団地22番地2 〒321 電(0286) 61-1111
筑波工場：茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地 〒300-22 電(029752) 5112
枚方製造所：枚方市中宮大池1丁目1番1号 〒573 電(0720) 40-1121
堺部品センター：堺市築港新町3丁8番 〒592 電(0722) 45-8601
宇都宮部品センター：宇都宮市平出工業団地38－16 〒321 電(0286) 63-6336
北海道部品センター：北海道札幌郡広島町字大曲186－37 〒061-12 電(01137) 6-2335
筑波部品センター：茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地 〒300-22 電(029752) 2293
枚方部品センター：枚方市中宮大池1丁目1番1号 〒573 電(0720) 40-1797
クボタトラクターコーポレーション(アメリカ・カリフォルニア州) ●カナダクボタトラクター販売(株)(オンタリオ州)
ブラジル久保田鉄工(有)(サンパウロ市) ●クボタヨーロッパ(株)(フランス・アルジャントゥイュ市)
イランクボタ(株)(ガズビン市) ●インドネシアクボタ(株)(スマラン市) ●マレーシアクボタ農業機械(株)(セランゴール州)
タイクボタトラクター販売(株)(バンコック市) ●クボタマルスチール農業機械(株)(フィリピン・マニラ市) ●新台湾農業機械(株)(高雄市)

品番 62513－6521－2　R．△．9－11．5．AK

小型特殊自動車としての取扱い

このテーラーにトレーラを取付けて道路を走行すると，道路運送車両法により小型特殊自動車になるので，運輸大臣の型式認定を受けています。

■小型特殊自動車取得の届出とナンバプレートの取付け

トレーラを取付けて道路を走行する場合は，市町村条令により，その取得を市町村役所に届出，ナンバプレートを取付けなければなりません。
(詳細な手続きは市町村により相違がありますが，役所窓口での簡単な手続きでできます。)
❶小型特殊自動車取得の証明書など(御購入店・農協で発行)に，軽自動車税(年間標準税額1000円)を添えて，市町村役所に届出る。
❷届出が済むと，ナンバプレートが交付される。
❸ナンバプレートを車体の取付け位置に取付ける。

■運転免許

(1)トレーラを取付けて道路を走行する場合は，小型特殊自動車の運転可能な免許が必要です。
(2)道路走行時は，必ず運転免許証を所持してください。

■自動車損害賠償責任保険のお勧め

万一の交通事故補償に備えて，任意保険に加入されることをお勧めします。

■道路走行時の注意

(1)型式認定時の寸法を越えるトレーラを取付けないでください。
(2)ブレーキのきかないトレーラは使用しないでください。
(3)バックミラー・ホーン・後部反射器・ヘッドランプが，確実に作用するか点検し，整備してください。
(4)最高速度は15km／時以下です。車輪やプーリを交換して，これ以上の速度が出るようにしないでください。
(5)運転者のほかは乗車させないでください。
(6)トレーラの積載重量と寸法を守りましょう。
(7)動力取出し軸にカバーをしてください。

■小型特殊自動車とは，

カタピラを有する自動車，農耕作業用自動車及び運輸大臣の指定する特殊な構造を有する自動車で，下欄に該当する自動車。

車体の大きさ	全長	4.70m 以下
	全幅	1.70m 以下
	全高	2.00m 以下
最高速度		15km／時以下
原動機の総排気量		1500cc 以下

■小型特殊自動車に必要な保安装置

(1)最小回転半径
トレーラを取付けた状態で，最外側のわだちについて12m以下。
(2)ブレーキ
1系統以上の制動装置が必要です。その制動距離は，制動初速度15km毎時未満の最高速度の状態で，5m以内で停止すること。
(3)ヘッドランプ
前方に1個のヘッドランプが必要です。
(4)後部反射器
トレーラの後面には，後部反射器を備えなければなりません。
トレーラを使用される場合は，確認の上，装備されていない場合は，販売店・農協で御購入の上，必ず取付けてください。
(クボタ純正トレーラには，後部反射器が装備されています。)
(5)ホーン
ホーンは必ず備え付けなければなりません。
(6)バックミラー
バックミラーは必ず備え付けなければなりません。

※このテーラーには，ヘッドランプ・ホーン・バックミラーは装備されていますので，更に装備する必要はありません。

安全に作業するために

安全運転のために，次のことがらを必ず守ってください。

耕うん機・テーラー ✚ 安全五憲章

1．道路走行・ほ場の出入り・車への積降しのときは，必ずロータリの回転を止めます。
2．農道を走行するときは，スピードを落とし路肩に注意します。
3．ほ場の出入り・車への積降しは上りは前進，下りは後進で行ないます。
4．バックをするときは，スピードを緩め背後の障害物に注意します。
5．機体の点検・調整・整備は必ず，エンジンを止めてから行ないます。

この機械をお使いになるときは復唱してください。

1．はじめに

取扱説明書をよく読んで，機械の使い方をよく覚えてから使用してください。
そして機械を点検し，異常箇所がないか確めてから使用してください。

2．燃料の給油とエンジンの始動

(1)燃料補給をするときは，
- 必ずエンジンを停止して行ないます。
- 燃料をこぼさない。
- こぼしたときは，きれいにふきとります。
- 火気厳禁。特に夜間は裸火の下で給油しない。

(2)密閉した車庫内で，長時間エンジンをかけたままにしておくと空気を汚し，ガス中毒を起す危険があります。
(3)エンジンを始動するときは，クラッチを切り，主変速レバーを「中立」にしてから行なってください。

3．始　動

発進するときは，周囲の安全を確かめ機械の付近に人が近づかないようにしてください。
又，バックするときは，足元・後方をよく確かめてからエンジンを低速にしてバックしてください。

4．作業中

(1)傾斜地で作業したり重い荷物をけん引するなど，無理な運転をすると機械が転倒することがあり危険です。
(2)安全カバーなどを取外した状態で運転すると，回転部分に巻込まれる危険があります。
(3)共同作業者がある場合は，動作ごとに合図をかわしてください。
(4)作業中は機械の近辺に人を近づけてはいけません。

5．積込み・積降ろし

(1)丈夫なすべり止めをしたアユミ板を確実に固定し，周囲に人がいないことを確認してから行なってください。
(2)積込み・積降ろし中にトラックが移動しないように，必ずトラックのエンジンを止め，サイドブレーキを確実にかけてください。

6．走　行

(1)6速で道路走行中，操向クラッチは切らないでください。急旋回して危険です。
(2)下り坂では，クラッチを切ったり，変速を中立にすると，スピードが出すぎて危険ですので，行なわないでください。
(3)坂道での変速操作は危険です。平坦な所であらかじめ遅い速度に変速し，安全な速度で走行してください。
(4)坂道で操向クラッチを操作すると，思わぬ方向に機体が曲がることがあります。坂道では速度を遅くし，ハンドル操作でカーブを曲がるようにしてください。
(5)高低差が大きいほ場への出入りは，転倒の恐れがあり，必ずアユミ板を使用してください。
(6)一般道路上では，自動車に道を譲るなど交通法規・交通道徳を守ってください。
(7)カーブでは速度を落としてハンドルを操作してください。
(8)踏切を渡る場合は、必ず一旦停止し、列車通過の有無を確認の上、速やかに渡ってください。

7．その他

(1)次のような状態では運転しないでください。
●飲酒運転。　●いねむり運転
●病気や薬物の作用で正常な運転ができないとき。　●妊娠中の方。
(2)だぶついたズボンや上着など回転部分に巻込まれやすい服装は，たいへん危険です。
(3)点検・整備・清掃などは，必ずエンジンを止めてから取扱説明書に従い行なってください。
(4)作業中，又は作業後に高温部分(マフラなど)に触れると，ヤケドをする危険がありますので，必ず冷えてから整備・点検などを行なってください。
(5)機械を他人に貸す場合は，取扱い方法をよく説明し，「取扱説明書」「納入品安全説明書」をよく読むように指導してください。

★以上，機械の取扱いで起りがちなあやまちを未然に防いでいただくために，主だった注意事項を挙げました。これ以外にも本文の中で **安全ポイント▶** として，その都度とり上げております。
更に，安全のポイントを抜粋した「安全注意ポスタ」・「納入品安全説明書」を別冊にして添付しておりますので，よくお読みいただいて必ず守ってください。

主要アタッチメント

作業	作業機組合せ	用途	変速位置	内容
耕起	スキ	荒起し	3	1.軽量で使い易く反転放てきが良い。 2.田・畑兼用で使用範囲が広い。
	角ロータ	一般耕起	4	1.畑・水田の，耕起・砕土・整地作業に適し，良い作業ができる。 2.推進力が大で安定作業ができる。
	ラグロータ	一般耕起	4	1.推進力が大で安定作業ができる。(特に傾斜地・砂地・軽しよう土・湿田での耕うんに最適) 2.分割式で作業に応じてドラムが分割できる。

パイプ車輪＋双用1段スキ(T4兼用)

J-1106

角ロータ＋抵抗棒(T4兼用)

J-1107

作業	作業機組合せ	用途	変速位置	内容
砕土 整地 代かき	角ロータ スプリングレーキ	整地	4	1.広幅にて砕土・整地作業を行なう。 2.土・雑草のからみ付きが少ない。
	代かき車輪	代かき	4	1.浮力・推進力が大で楽に作業ができる。 2.代かき・砕土効果が良好で，土の反転性が良く代かき作業に適する。
	田打ちロータ 抵抗棒	代かき	4	1.浮力・推進力が大で楽に作業ができる。 2.取付け・取扱いが容易です。

角ロータ＋スプリングレーキ(T4兼用)

J-1108

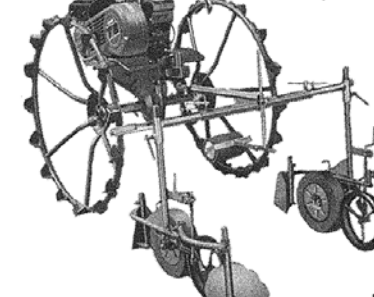
田打ちロータ＋湿田抵抗棒(T4兼用)

J-1109

作業	作業機組合せ	用途	変速位置	内容
マルチ※	高うねマルチ マルチ車輪	マルチ作業	1	1.シートの両側は溝を作って埋めこみながらマルチ作業ができる。 2.かまぼこ形のマルチ作業に適する。
	中耕ロータリ 高うね 同時マルチ	マルチ作業	1	1.うね盛り作業と同時にマルチ作業ができる。
	中耕ロータリ タバコロータ 内盛り整地板 はん用高うね マルチアッシ	マルチ作業	1	1.うね盛り作業と同時にマルチ作業ができる。 2.タバコの内盛り作業に適す。

中耕ロータリ＋R角ロータ＋高うね整形板＋マルチ(T6兼用)

J-1113

マルチ車輪＋マルチ(T6兼用)

J-1114

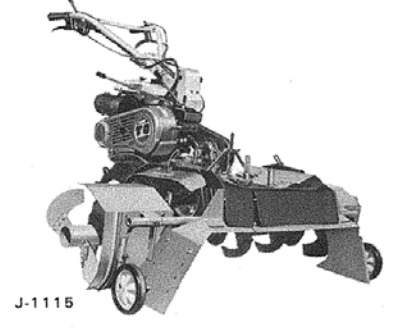
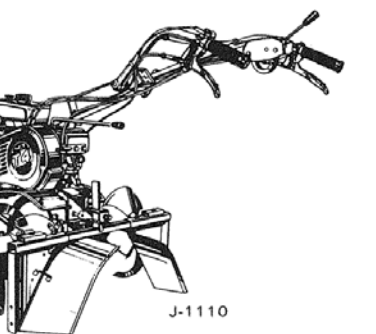
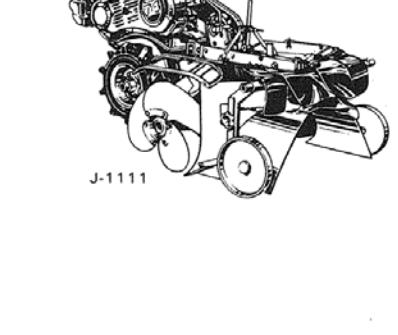
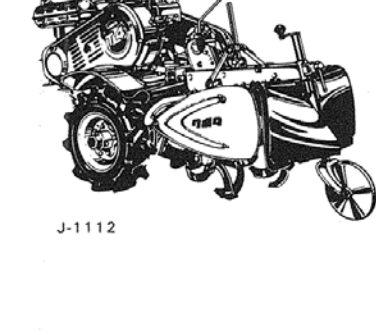
作業	作業機組合せ	用途	変速位置	内容
うね立て うね盛り※	中耕ロータリ タバコロータ 内盛り整形板	タバコなどのうね立て	1	1.うね形状はうね肩に肉のついた，かまぼこ形のうねができる。
	中耕ロータリ 2うねロータアッシ 2うね整形板	ジャガイモなどのうね盛り	1	1.整形板との組合せにより，かまぼこうね2うねができる。
	中耕ロータリ 平うねロータ 平高うね整形板内盛り はん用平うねマルチ	レタス・トマトなどのうね盛り	1	1.うね高さ・うね幅が自在に調節でき，用途に合ったうね作りができる。 2.調節が簡単で楽に作業ができる。

中耕ロータリ＋平うねロータ＋平高うね整形板(T6兼用)

J-1115

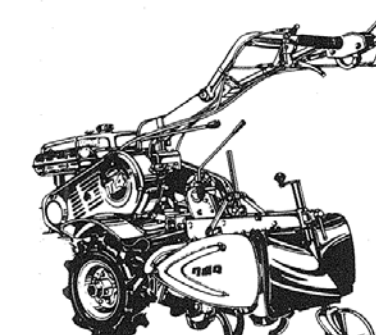
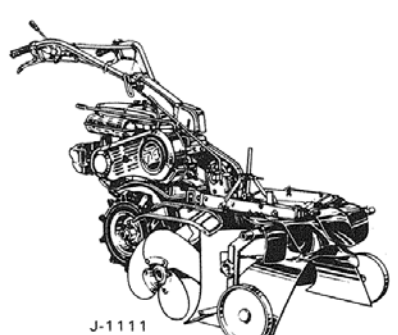
角ロータ＋土寄せ板＋うね整形板(T4兼用)

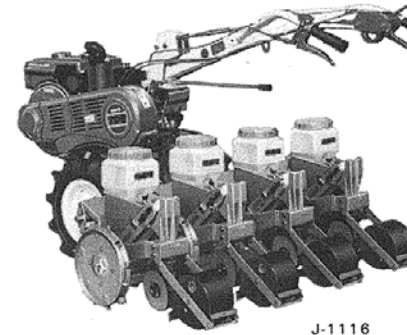
J-1110

作業	作業機組合せ	用途	変速位置	内容
中耕 除草	中耕ロータリ	中耕 除草	1	1.うね間の中耕作業に適している。 2.補助羽根が開閉式で，うね盛り土寄せ作業に適す。
培土	中耕ロータリ タバコロータ 外盛り整形板	タバコの土寄せ	1	1.低動力で楽に有効に，土寄せ・培土作業ができる。

中耕ロータリ＋タバコロータ＋内盛り整形板(T4兼用)

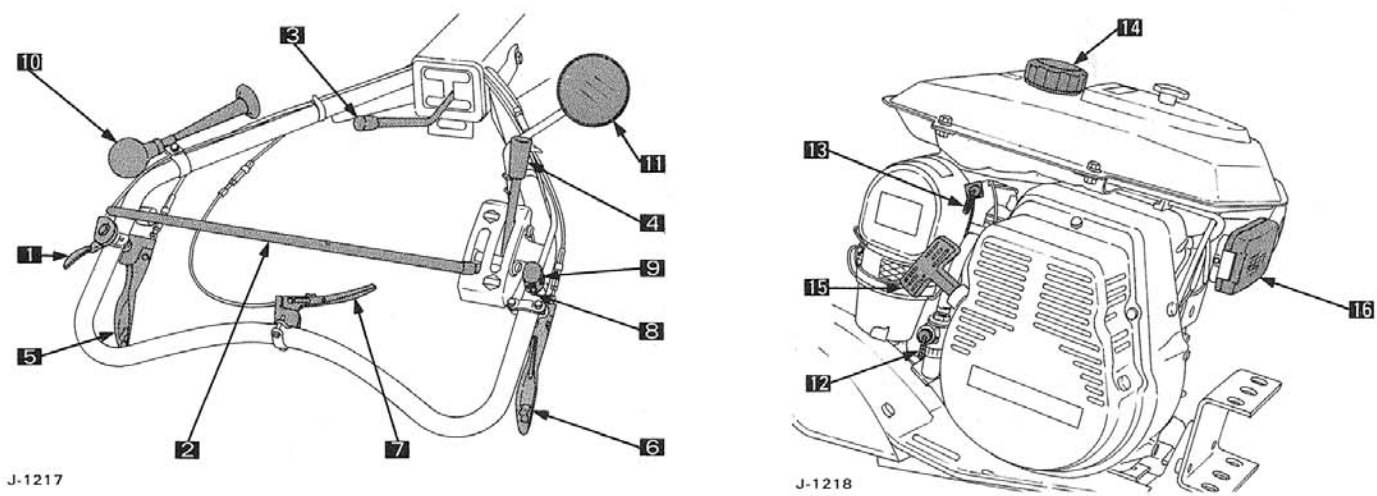
J-1111

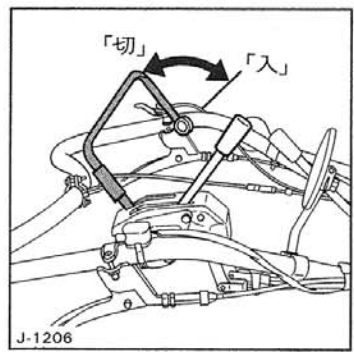
中耕ロータリ(T4兼用)

J-1112

作業	作業機組合せ	用途	変速位置	内容
播種	種まき ごんべえ	そ菜の種まき	1	1.本機への取付けがピン1本で簡単にできる。 2.播種駆動輪が大きく播種ムラがない。

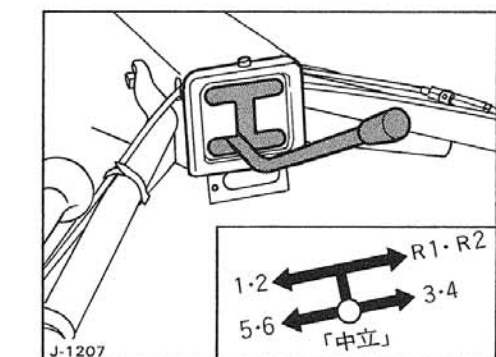
種まきごんべえ(TD6兼用)

J-1116

(1)図は，T4又はTD6とのセット状態です。
(2)※印作業では，フロントハンドル(品番91314－4011－1)を併用してください。
(3)アタッチメントの選定は，販売店又は農協とよく御相談され，作業条件に合ったものを御購入ください。

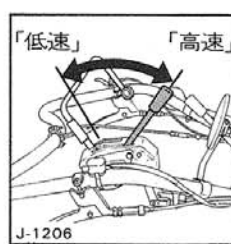
運転装置の説明

1 スロットルレバー
エンジンの回転速度を調節します。

2 主クラッチレバー
エンジンから車軸への動力を断続します。

安全ポイント
(1)トレーラ運搬作業や路上走行時，主クラッチレバーを急激に入れますと，エンストをしたり急に走り出したりして危険です。
(2)後進のときはハンドルが持上がり危険ですので，ゆっくり主クラッチレバーを入れてください。

3 主変速レバー
副変速レバーとの組合せにより，前進６段・後進２段の変速ができます。作業に適した速度をお選びください。

注意
● 前進後進に関係なく変速が入りにくい場合は無理をせず，いちど半クラッチにして再度変速操作をしてください。

4 副変速レバー
「高速」「低速」の切換えができます。

副変速レバー	主変速レバー
「低速」	「1速」「R1速」「5速」「3速」「中立」
「高速」	「2速」「R2速」「6速」「4速」「中立」

エンジン回転速度1600回転／分

変	速	車軸回転速度	走行速度	主な作業
前	1速	13.2回転/分	19.2m/分	ロータリ耕うん
前	2速	26.2	38	スキ耕
前	3速	33.2	48.2	スキ耕
前	4速	65.9	95.6	ロータ耕・代かき
進	5速	72.5	105.2	ロータ耕・代かき
進	6速	144.2	209.2	トレーラ (最高速度14.1km/時)
後	R1速	11.3	16.4	移動
進	R2速	22.5	32.6	トレーラ

安全ポイント
●「前進６速」「後進２速」は高速で危険です。トレーラ作業のほかは，使用しないでください。

5 操向クラッチレバー(左)
握ると左に旋回します。
6 操向クラッチレバー(右)
握ると右に旋回します。

安全ポイント
● 坂道を運行している場合，又はトレーラ運搬の場合は，操向クラッチを切ると，急激に機体の方向が変って危険ですから，ハンドルのみで操作してください。

7 駐車ブレーキ
レバーを握るとブレーキがききます。更にロック金具を作用させると，レバーがロックされ，駐車ブレーキになります。

安全ポイント
● このブレーキレバーは駐車ブレーキのため，路上走行中は使用しないでください。
走行中使用すると，ハンドルが上(前進時)下(バック時)に急激に揺れます。

8 ライトスイッチ

9 エンジン停止ボタン
押すとエンジンが停止します。
10 警報器
ゴム部を握ると音が鳴ります。
11 バックミラー
12 燃料コックレバー

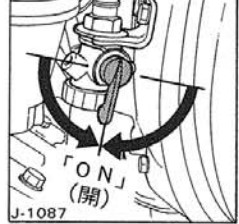
13 チョークレバー

14 燃料タンクキャップ
15 リコイルスタータハンドル
16 ヘッドランプ

運転のしかた

エンジンの始動前には，必ず仕業点検を行なってください。

エンジンの始動

❶主クラッチレバーが「切」，主変速レバーが「中立」の位置にあることを確認します。
❷燃料コックを開きます。

❸スロットルレバーを「高」と「低」の中間の位置にします。

❹チョークレバーを「閉」にします。
● エンジンがよく暖まっているときは，チョークの操作は不要です。

❺リコイルスタータハンドルを握って，勢いよく引張ります。
● エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。
❻エンジンの運転調子を見ながら，チョークレバーを徐々に戻します。(開く)
❼２～３分間暖機運転を行なってから，作業を始めてください。

安全ポイント
(1)マフラの排気出口方向に，燃えやすいものがないか確認してください。
(2)リコイルスタータの引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。
(3)エンジン運転中，マフラに手を触れないでください。

エンジンの停止

❶スロットルレバーを「低」にします。
❷停止ボタンを押すと，エンジンが停止します。

❸燃料コックを閉じます。

安全ポイント
● エンジン停止直後は，マフラが熱くなっていますから，手を触れないようにしてください。

テーラーを安全に調子よく長持ちさせるには

安全ポイント 給排油・点検・調節・清掃中はエンジン停止。

仕業点検（毎日始動前の点検）

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
毎日始動前に，必ず仕業点検を行なってください。

1．前日使用の異常箇所。
2．燃料は充分か。……………… 1
3．エンジンオイルの量，及び汚れ。……… 2
4．ミッションオイルの量，及び汚れ。…… 3
5．エアークリーナエレメントの汚れ。…… 5
6．タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷。
7．各しゅう動部（主クラッチ，テンションアーム支点軸，ワイヤなど）にオイル切れがないか。……………… 4
8．各部の油もれ。
9．各部の損傷，及びボルト，ナットの緩み。

ならし運転（最初の10時間程度使用まで）

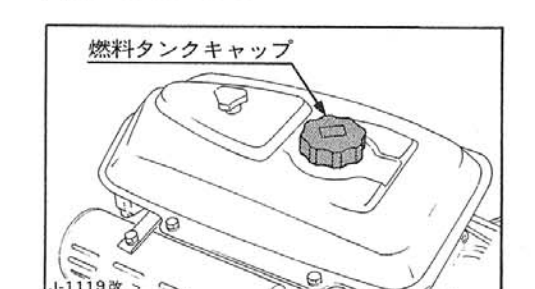
この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ，無理をさせないようにしましょう。

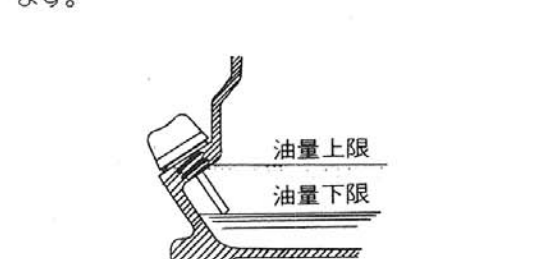
1 燃料の給油

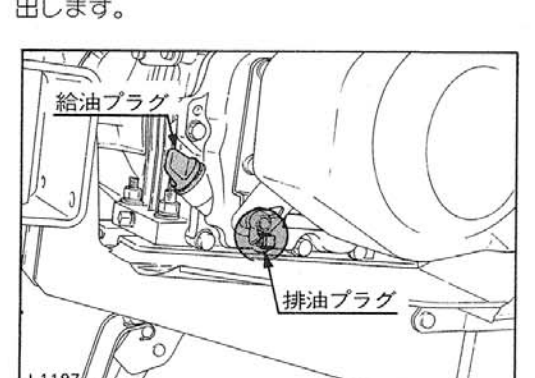
安全ポイント
(1)給油中はエンジン停止・火気厳禁。くわえ煙草での給油はしないでください。
(2)燃料がこぼれたときはきれいにふきとってください。

前スタンドを立てて機体を安定させ，給油口からこし網を通して給油してください。

燃料の種類	規定容量
自動車用無鉛ガソリン	3.8ℓ

注意
● 燃料タンク内にゴミや水が混入しないように注意してください。

2 エンジンオイル

◆給油のしかた
前スタンドを立てて，スタンドの下に台をおき，エンジンを水平にして，給油口の口元まで入れます。

注意
● 粗悪なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますので，販売店・農協でクボタ純オイルG20又はG30と指定の上，お求めください。

◆排油のしかた
前スタンドを立てて，排油プラグを取外して排出します。

オイルの点検と交換表

オイル交換は，旧油といっしょにケース内のゴミも排出させるために，運転使用後オイルが暖まっている状態のときに排出してください。

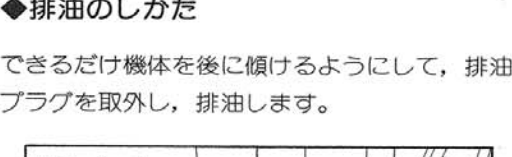
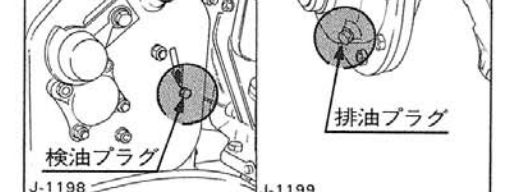
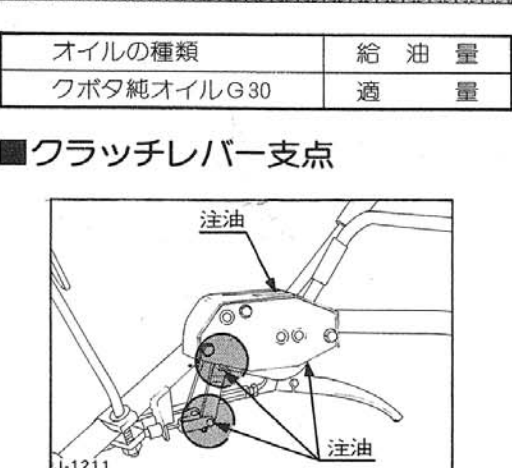
項目	点検方法	交換 第1回め	交換 以後	オイルの種類	規定量
エンジンオイル	エンジンを水平にして，給油口の口元まで。	20時間使用後	50時間使用ごと	クボタ純オイル（ガソリンエンジン用）冬G20，夏G30	0.6ℓ
ミッションオイル	スタンドを立てた状態で，検油口からあふれ出るまで。	50時間使用後	年1回	クボタ純オイル（ミッション用）M90又は，M80B	4.0ℓ

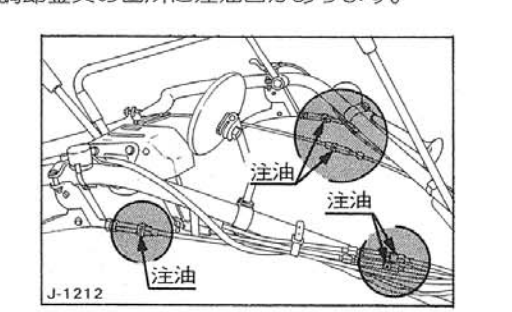
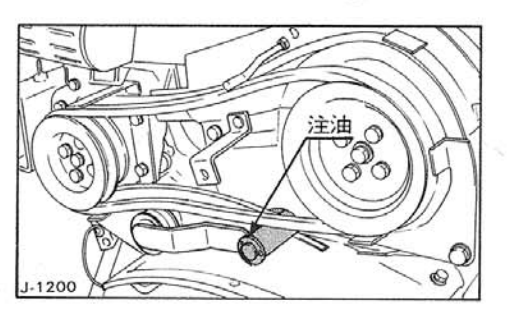
3 ミッションオイル

◆給油のしかた
前スタンドを立てた状態で給油プラグを外し，検油口からオイルがあふれるまで給油します。

◆排油のしかた
できるだけ機体を後に傾けるようにして，排油プラグを取外し，排油します。

4 注油箇所

オイルの種類	給油量
クボタ純オイルG30	適量

■クラッチレバー支点

■各種ワイヤ

調節金具の箇所に注油口があります。

■テンションプーリ支点軸

安全ポイント
● ベルトカバーを取外した場合は，必ず取付けてからエンジンを始動してください。

■その他のしゅう動部の注油

その他の各しゅう動部分には，オイルを適量注油してください。

フューエルフィルタの清掃

フィルタ内に水やゴミがたまっているときは，フィルタポットを取外し，よく清掃してください。

注意
● 取付け時，燃料もれのないように完全に締付けてください。

使用後の清掃

使用後は，❶必ずその日のうちに清掃を行ない，❷各部に付いている土やゴミを落とし，❸各しゅう動部は錆びないよう油を塗布してください。❹特にファンカバー内にゴミが詰まると，エンジンの焼付きなどの原因になるので，よく点検・清掃を行なってください。

長期格納時の手入れ

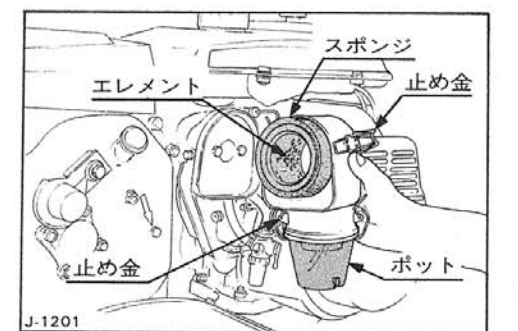
使用後の清掃と同じく，❶各部に付着している泥やゴミを水で洗い落とし，❷各部の水分を乾いた布などで充分にぬぐい取り，❸摩擦しゅう動部，及び塗料のはがれたところなどには，さびないように油脂を塗布してください。
その他，次の事項について手入れしてください。
(1)主クラッチレバーは「切」の位置にして，保管します。
(2)燃料は全部抜取っておきます。
(3)エンジンオイルを交換し，各部をきれいに清掃します。
(4)エアークリーナエレメントは，きれいに清掃しておきます。ゴミがこびりついて次回使用の際，清掃が困難になります。
(5)エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するため，リコイルスタータハンドルを引張って，圧縮位置で止めておきます。
(6)カバーをかけ，湿気やホコリのない場所に置いてください。カバーはエンジンが冷えていることを確認した上で，かけてください。

■燃料の抜き方

使用後，燃料をそのままにしておくと，燃料タンクや気化器内のガソリンが気化して，次の始動が困難になることがあるので，全部抜取ってください。
燃料タンク内はパイプなどを使用して抜取り，気化器内は排出ネジを緩めて全部抜取ります。

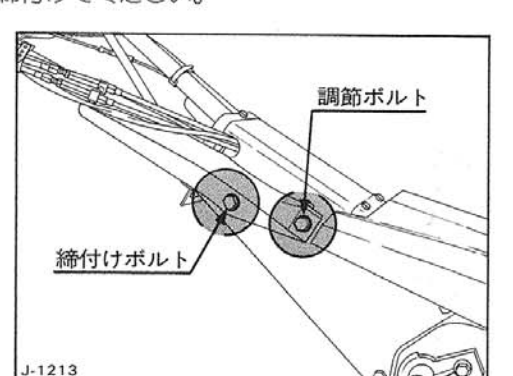
安全ポイント
● 燃料がこぼれたときは，きれいにふきとってください。

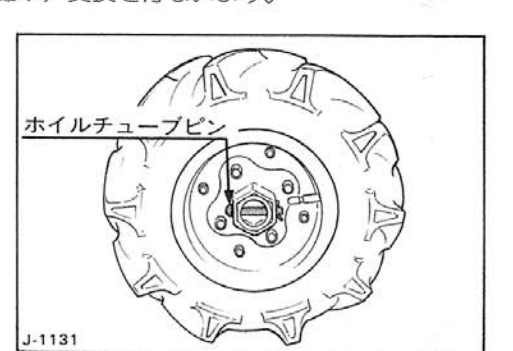
5 エアークリーナの清掃

止め金を外し，エレメントを取出して清掃してください。(50～60時間使用ごと)
(1)内側エレメントは，叩いてホコリを落します。
(2)外側スポンジは，ガソリンで洗浄した後エンジンオイルに浸し，固く絞って使用します。
(3)ポットにたまったゴミは，止め金を外して掃除します。
(4)エレメントは，６回清掃又は１年ごとに交換します。

各部の調節のしかた

安全ポイント 点検・調節・取付け・取外し中は，エンジン停止。

手元ハンドルの上下調節

手元ハンドルの高さは，３段に調節できます。締付けボルトを緩め，調節ボルトを抜き，使いやすい位置に調節します。
調節後は，調節ボルトと締付けボルトを確実に締付けてください。

車輪間隔調節と車輪交換

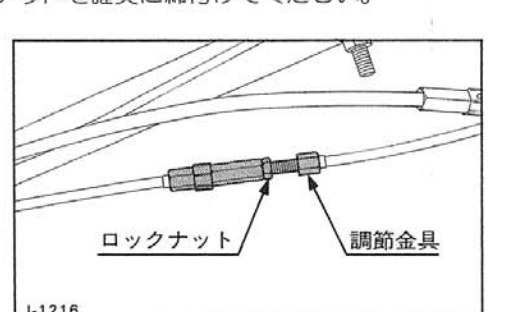
作業条件に応じて，適当な車輪間隔調節と車輪交換を行なってください。
車輪は，ピン１本を通して取付けてありますので，ホイルチューブピンを抜いて車輪間隔の調節や，交換を行ないます。

タイヤの空気圧

空気圧が高すぎても低すぎてもタイヤの寿命を縮めます。定期的に空気圧を調べて，適正になるように調節してください。

適正空気圧	1.2kg/cm²

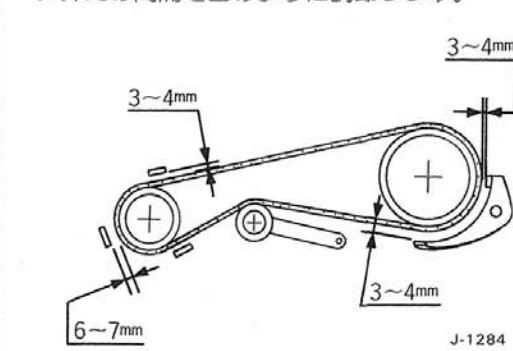
空気入れはエアーコンプレッサか高圧手押しポンプを用います。

駐車ブレーキの調節

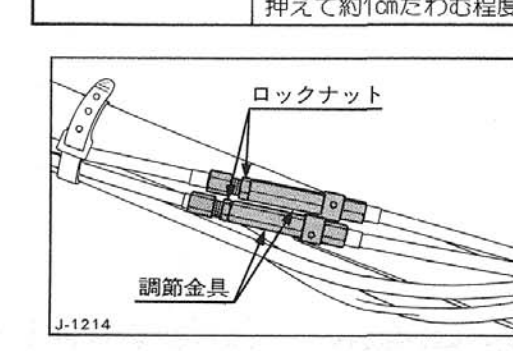
ブレーキレバーを握り，ロック金具を作用させると駐車ブレーキになります。ブレーキがききにくい場合は，調節金具のロックナットを緩め，左に回して長く引き出し，確実にきくことを確認してください。調節後は，調節金具のロックナットを確実に締付けてください。

主クラッチの調節

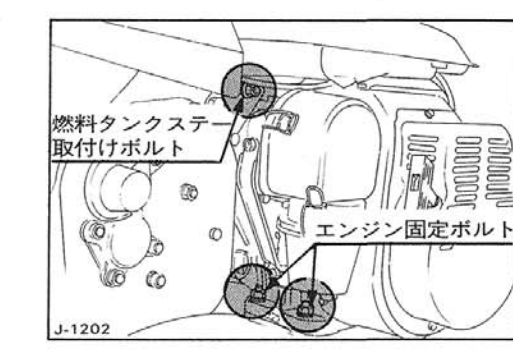
主クラッチレバーは，運転操作の源となる重要なレバーです。確実に断続できるように，次のことがらについて調整してください。

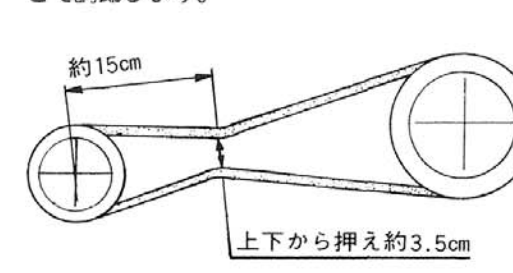
■ベルト押さえの調節

主クラッチを入れた状態で，ベルトと上下ベルト押えの間隔を図のように調節します。

■主クラッチワイヤの調節

主クラッチレバーを入れてもベルトがスリップする場合，又，主クラッチレバーが重すぎる場合などには，主クラッチワイヤの調節金具でベルトの張り具合を調節します。

ベルトがスリップする場合	調節金具を長くする。
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具を短くする。
ベルトの張り強さ	主クラッチを入れた状態で，ベルト中央部を指で押えて約1cmたわむ程度。

■エンジン前後によるベルトの調節

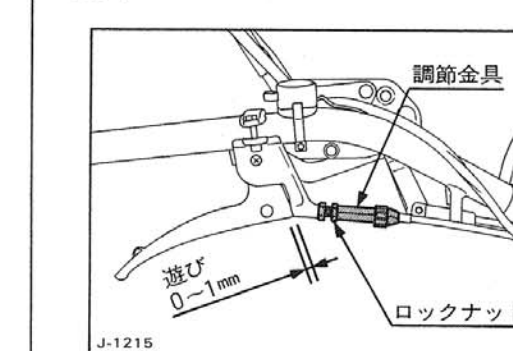
ベルトが伸びたり，新しいベルトに取換えた場合に，主クラッチワイヤやベルト押え金具で主クラッチの調節ができない場合は，エンジンを前後に移動して調節します。エンジン固定ボルト４本と，燃料タンクステー取付けボルトを緩めて調節し，調節後は確実にボルトを締付けてください。

■新しいベルトに交換する場合

新しいベルトに交換する場合は，高低２本のベルトを同時に交換し，ベルトのたわみ代は，エンジンプーリ側から約15cmの位置で上下から押えて，約3.5cmになるよう，エンジンを移動させて調節します。

安全ポイント
(1)調整と各部の締付けが終ってからの確認は，主クラッチを切り，エンジンを始動して，主クラッチを「入」のときベルトが作動し，「切」のときに停止するか確認してください。
(2)調整・掛換えが終ったら，必ずベルトカバーを取付けてください。

操向クラッチの調節

操向クラッチレバーを握っても，操向クラッチが切れにくい場合，又レバーを放しても入りにくい場合は，ワイヤ調節金具のロックナットを緩め，調節金具を回して調節します。

切れにくい場合	調節金具を長くする。
入りにくい場合	調節金具を短くする。
適正調節量	操向クラッチが完全に入っていることを確認してレバーの遊びが０～１mm程度。

調節後は，ロックナットを確実に締付けてください。

点火プラグの調節・清掃

点検調節は６ヵ月に１回行ないます。
タンクカバー締付け用マスコットネジを外してタンクカバーを外し，プラグ用ボックススパナでプラグを外して，清掃します。
電極間隔は，下図のスキマに調節してください。

注意
● 締付け時は，ネジ山をつぶさないよう，はじめ手で締込んでから，ボックススパナで締付けてください。